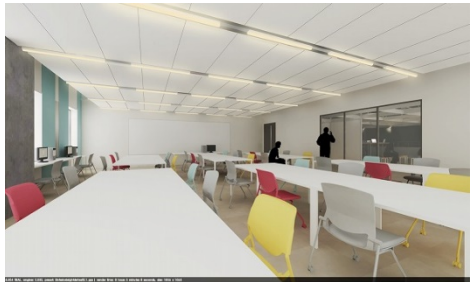


＜フロア構成＞ 特徴的な施設の紹介

1 階	メーカーズルーム他	北側エントランス近くは「メーカーズルーム（工作室）」を中心としたものづくりの拠点。パソコン、3D プリンタや各種工作機械などが設置され、工学部だけでなく他学部 of 学生も利用します。	 ＜メーカーズルーム＞
2 階	ロボットラボ／ クリエイティブラボ	南側エントランス付近にあるガラス張りの「ロボットラボ」は、カフェにも隣接しており、誰もが AI 研究の最前線に触れることができます。このフロアには「実験室」と「クリエイティブラボ」を設置。オープンスペースは、多様な分野のものづくりが融合する場となるでしょう。	 ＜オープンスペースの一例＞
3 階	実験室／ プロジェクトスタジオ	PC を備えた「プロジェクトスタジオ」や「デザインラボ」などの実験室が入るフロアです。すべての学部の学生が集う異分野融合を促進するスペースも設けます。	 ＜プロジェクトスタジオの一例＞
4 階	研究室	工学部の教員研究室が設けられています。中央部の吹き抜けを囲んだオープンスペースは、多くの人が行き交い、分野を超えたコラボレーションを生み出します。	
5 階	実験室／ プロジェクトスタジオ	学生や教職員同士の交流によって異分野融合のイノベーションを実現するため、「プロジェクトスタジオ」と「実験室」を混在させたフロア。通路部分は自由に使えるオープンスペースになっています。	 ＜オープンスペースの一例＞
6 階	食堂	玉川の丘、さらには都心や横浜方面を一望できる学生食堂。開放的な景色は学生たちの発想力を広げます。座席は 347 席を用意。 (一般開放はしていません)	 ＜食堂イメージ図＞

<分野を超えたさまざまな人が集まる仕掛けの一例>

建物内部での展開



今までの仕切られた教室の概念にとらわれない多様なオープンスペースがアクティブ・ラーニングを促進します。

STREAM Hall 2019 のエントランスに広がるコラボレーションテラス（建物右側）

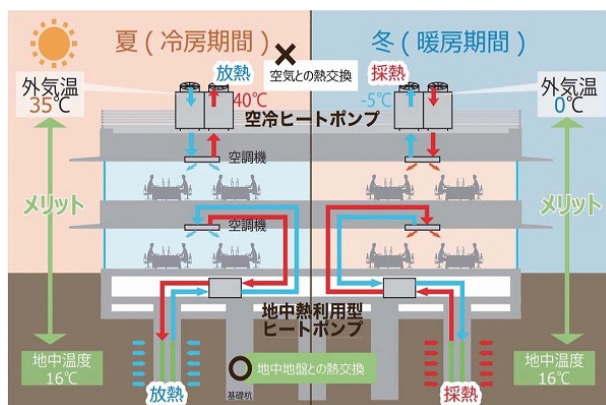
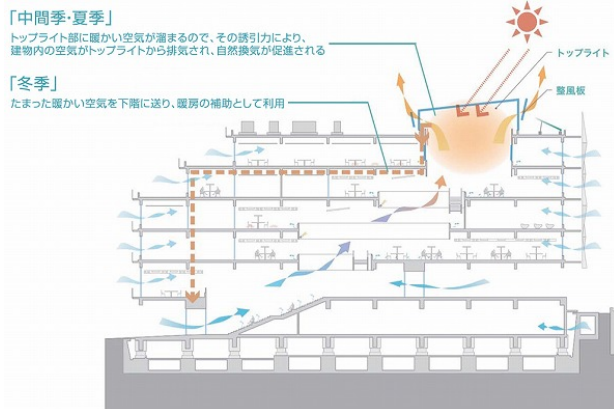


この広場には、創立者小原國芳が理工系の学生に対し贈った書「慧眼見真」「神なき知育は知恵ある悪魔をつくることなり」の碑を設置予定。

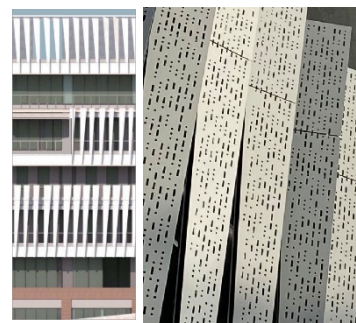


<SDGs を意識した校舎環境整備>

トップライトと地中熱を利用した省エネ設計で、年間を通じて効果的な空調を実現しました。



建物を覆う金属製ルーバーは日射と自然通風のコントロールという役割を担っています。そのため、各ルーバーはコンピュータシミュレーションによって、最適な角度が決められています。また、ルーバーには風を通す穴がいくつもあけられており、全人教育の6つの価値「真、善、美、聖、健、富」を意味するモルルス信号がデザインのモチーフになっています。



<ルーバのイメージ図と現物写真>

玉川大学「STREAM Hall 2019」の概要

主構造	鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 6 階建て
延べ床面積	12,158.27 m ²

以上